



清水丘小学校



(令和6年5月1日現在)

所在地	〒558-0033 住吉区清水丘2-9-41		
電話	06-6673-1101・1102	FAX	06-6673-1019
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e731666		
校長名	岩崎 哲		
児童数	540名	教職員数	42名
学級数	24学級（うち特別支援学級6）	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

自ら学ぶ態度と心豊かに
たくましく生きる力を育む教育を推進する。

校訓

強く 正しく 美しく

校長メッセージ

清水丘小学校は、住吉区の西南部、清水丘1丁目から3丁目を中心とした地域にある学校です。校訓「強く・正しく・美しく」のもと、仲間を大切にし、基礎的・基本的学力の育成を図ることをめざして教育活動を進めています。特に高学年児童の自発的・自律的な気風が強く、低学年児童も交えた児童会活動もさかんです。地域の方々のご協力のもと行う生活科や社会科の学習も活発に行っています。

学校協議会会長メッセージ

清水丘小学校学校協議会は、保護者や地域の皆様にこれまでと同様、学校に関心を持っていただけるよう、先生方といっしょにさまざまな面から検討を行っています。学校の教育活動や地域・PTA・学校との連携、地域独自の教育活動等、それぞれについてふり返りを行い、よりよい清水丘小学校にできるよう努めています。児童の健全育成に向けて、今後とも皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

▶▶ 運営に関する計画

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の児童アンケートにおいて、「毎日学校に行くのが楽しい」の項目について、肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて、「学校は、命の大切さや人の心を大切にすることに取り組んでいる」の項目について、肯定的回答率を95%以上にする。
- 令和7年度末の児童アンケートにおいて、「学校では自分からすすんであいさつをしている」の項目について、肯定的回答率を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の児童アンケートにおいて、「授業で自分の考えを発表することがある」の項目について、肯定的回答率を90%以上にする。
- 令和7年度末の児童アンケートにおいて、「休み時間に友だちと元気よく外に出て遊んでいる」の項目について、肯定的回答率を80%以上にする。
- 令和7年度末の児童アンケートにおいて、「運動やスポーツをすることが好き」の項目について、肯定的回答率を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の児童アンケートにおいて、「授業は興味をもって活動できる」の項目について、肯定的回答率を90%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケートにおいて、「学校の様子は参観や懇談、学校、学年通信などで伝えられている」の項目について、肯定的回答率を90%以上にする。

学校行事

1学期

- 4月 入学式、始業式、1年生を迎える会、避難訓練・保護者引取訓練、家庭訪問
- 5月 春の遠足、新体力テスト、学習参観・懇談会、交通安全指導
- 6月 学習参観、プール開き、フレンド集会
- 7月 懇談会、終業式、PTA子ども鑑賞会、夏季休業、プール納め

2学期

- 8月 夏季休業、始業式、公園校庭清掃
- 9月 避難訓練、学習参観・懇談会、学校選択説明会、一泊移住5年（貝塚少年自然の家）
- 10月 運動会（学校公開）、秋の遠足、就学時健康診断
- 11月 修学旅行6年（志摩・信楽）、交通安全指導、清水丘フェスティバル、学習展示会
- 12月 懇談会、終業式、冬季休業

3学期

- 1月 冬季休業、始業式、避難訓練、耐寒なわとび、給食週間
- 2月 耐寒かけ足、入学説明会、学習参観・懇談会、クラブ発表会・展示会、学習参観
- 3月 6年生を送る会、卒業式、修了式、春季休業

入学式



フレンド集会
(児童集会)



運動会での演技
(1年)



卒業式
(6年)



▶▶ 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状（調査対象：令和5年度の小学6年生）

【平均正答率（％）】	国語	算数
	61	50

国語科の平均正答率は、大阪市平均を6ポイント、全国平均を6.2ポイント下回った。観点別にみると、「情報の扱いに関する事項」においては、全国平均とほぼ同じ正答率、大阪市平均と比べると0.8ポイント上回った。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、大阪市平均を4.7ポイント、全国平均を4.2ポイント下回り、「書くこと」においては大阪市平均を3.1ポイント、全国平均を5.6ポイント下回った。「話すこと・聞くこと」においては大阪市平均を11.4ポイント、全国平均を11.6ポイント下回った。

算数科の平均正答率は、大阪市平均を12ポイント、全国平均を12.5ポイントも下回った。領域別の正答率をみると、「数と計算」領域では11～12ポイント、「図形」領域でも11～12ポイント、「変化と関係」領域では12ポイント、「データの活用」領域では12～14ポイント下回った。

国語科においては、読む力を高め、読み取ったことをもとに自分の考えを明確にし、自分の言葉として表現できるようにしていきたい。そのためにも、文章を正しく読み取る力を高められるように意識をした授業改善が必要である。文章の要約をしたり、日記や感想を書いたりする機会を多く設定し、「何を伝えたいのか」「ポイントは何か」を常に意識させる必要がある。また同音異義語、接続語など言葉そのものにも注目したり、さらに状況描写や表現方法にも着目したりするなど、言語感覚を磨くような学習展開を行っていくことも大切である。

算数科においては、定着度に個人差があり、反復練習や補充問題などによりしっかりと基礎基本の学力の定着に取り組む必要がある。図形の領域などでは、実際に計測してみるなど体感できるような授業展開を大切にするなど単に公式を覚えるのではなく、なぜそうなるのか、意味や意義を考えられるようにしたい。また、数と計算の領域などでも、何度も練習を行うことで、単なる計算の仕方だけではなく、「早く」「簡単に」「正確な」計算力を身につけさせるようにしていく。

▶▶ 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果（調査対象：令和5年度の小学5年生）

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	14.12	16.73	27.91	31.27	34.94	10.11	141.18	18.76	43.78
女子	14.90	18.88	33.20	36.52	30.86	9.93	146.06	13.46	51.76

体力合計点に関しては、男女ともに全国平均・大阪市平均を下回った。女子においては、男子と比べて大阪市平均との差が僅差であった。男子は、全項目において大阪市平均を下回ってしまったが、女子については、上体起こし、反復横跳び、立ち幅とび、ソフトボール投げの4項目において大阪市平均を上回っている。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」において、男子の肯定的回答率が84.4%女子が71.4%であり、どちらも全国平均・大阪市平均を大きく下回った結果となった。

また、1週間の総運動時間が60分未満の児童に関しては、男子が10.3%(全国9%、大阪市10.5%)であったのに対し、女子は23.4%(全国16.3%、大阪市18.2%)であり、男子に比べて女子は運動時間が少ない割合が高いことがわかった。

体を動かすことが好きになるよう、休み時間には元気に運動場で遊ぶよう促したり、各クラスみんな遊びの時間を取り入れ、学級全体で体を動かすよう取り組んできた。また学年で大縄大会を実施したりマラソン大会に取り組むなど、子どもたちが興味関心を持って参加できるような取組を行ってきた。学校全体でも縄跳び週間やかけ足週間などを設け、体力・運動能力向上に努めてきた。そのおかげもあってか、休み時間も元気に運動場で遊ぶ姿が見受けられたり、放課後に残って遊ぶ姿が増えてたりしている。ただし、運動が好きな児童と、運動が苦手だったり嫌いだったりする児童が二極化している。休み時間も教室で過ごす児童や、体育の時間に意欲的に参加していない児童がいることも事実である。子どもたちが「体を動かすことが楽しい」と思うような取組を考え、簡単に気軽にできる活動から始めてみるなど、子どもたちが「やってみよう」「楽しそう」と思えるような取組をふやしていきたい。また、創意工夫を凝らし子どもたちが楽しく参加できるような体育の授業展開が行えるよう教職員の研修を深めていく。また、ICT機器の活用も活発にし、学習の質が高まるようにしていく。